

カナダにおける中等教育後の CO-OP 教育について

ジェラルディン・H・ヴァン・ジー
カナダ・ビクトリア大学 教授

要 約

カナダでは、CO-OP 教育が中等教育後の不可欠な要素となってきた。CO-OP 教育は効果の高い教育戦略であり、高等教育の未来にとって必要な一部であるという見方が、大勢を占めている。知識や学習を重視する地域共同体経済へと世の中が移行するに連れて、状況に即した継続的学習をサポートする CO-OP 教育のようなプログラムのモデルは、今後もカナダの国民教育において重要な役割を果たし続けるだろう。中等教育後の教育課程にいる学生と雇用主による CO-OP 教育に対しては、引き続き非常に強い需要が見られる。この需要を受けて、成績に基づいた独自の入学基準を掲げる教育機関も登場するようになった。「最優秀レベル」とされる学生がこれらの CO-OP 教育で多数を占めているという事実は、統計こそ存在しないものの個別事例で確認されている。